

# 成和東小だより

No.7 2023(令和5)年7月20日  
学校長 堀川 実和子

## 交通安全について★

7月1日(土)は国民安全の日でした。本校では、前日の6月30日に身のまわりの安全について考える日として、交通安全について学習する時間を持ちました。各教室で「交通安全」の動画を見ました。動画では『危険発見!』をテーマに、横断歩道のないところ、見通しの悪い交差点、道路に止まっている車の前や後ろの横断…等々の場面が映し出され、子どもたちはそこに「どんな危険がある



のか」について考えました。そして、身を守るために、横断歩道であっても、信号が青であっても、『止まる・見る・待つ』が大切であることを学習しました。「見る」については「右・左・右」を確かめて…の動画の言葉に「お父さんから、右・左は何回でも見やなあかんでって言われてる!」という子もいました。明日から夏休みに入りますが、県下の交通事故が増えている状況です。今一度、ご家庭でも安全な道路の渡り方や危険箇所等についてお話いただければと思います。

## 伊賀市生涯学習課 川口素生さんとの出会い学習 6年

7月6日(木)、6年生は、伊賀市生涯学習課人権同和教育係の川口素生さんに会いました。川口さんとは、3年生の時にも出会って話を聞かせてもらっています。そして、今回は「いじめや差別をなくそうと行動している人」として、さらに詳しく川口さんの話を聞きたいと、来校いただきました。川口さんからは、子どもころは弱い立場の子にいやなことをしていたこと、子どもたちやさまざまな人との出会いから、「差別をなくす人



でありたい」と思うようになり、仕事以外でも行動し続けていることなどを聞かせてもらいました。6年生は、これから自分たちにどんなことができるのかを考えながら話に聞き入っていました。



## 富田 高平さん(TomiBerry いちご農園代表)との出会い学習 5年

7月7日(金)、5年生は、人権教育・キャリア教育の一環として、TomiBerry いちご農園代表の富田高平さんに来校いただき、いちごづくりにかける思いや農業を始めたきっかけ、いちご栽培についてなどの話をお聞きました。富田さんは、「自分の手で何かをつくり、人に喜んでもらえることはできないか」と考え、いちご栽培を始められました。現

在ではいちごの販売、いちご狩りだけでなく、地元店とのコラボ商品の開発など、地域との関わりにもこだわりをもって取り組まれています。富田さんは5年生のみんなに「農業で、いちごで、人を笑顔に、そして地域を元気にしたい」という思いを話してくれました。子どもたちからは「自分も人を笑顔にできることを見つけたい。」「自分も目標におかってチャレンジしたい。」などの感想が出されました。

## 地区市民センター見学 3年

3年生は、社会科で自分たちの住んでいる地域について学習しています。そのなかで6月29日(木)に古山地区市民センターへ、7月12日(水)に猪田地区市民センターへ見学に行かせていただきました。



それぞれのセンター長さんや職員の方から「地区市民センターの役割」や活動・催し、職員の方の日々の仕事について話をお聞きしました。また建物の中にどのような部屋があるのか、どんなときにどのように使われているのかなど、施設の案内もしてもらいました。子どもたちは、「地域の人が困ったときに助けてくれたり、安全に安心して過ごすことができたりするように考えて仕事をしてくれている」と学習した感想を出し合いました。

## 環境学習 1. 2年

1、2年生は、7月18日(火)に三重県の環境学習推進員の方に来ていただき、環境について考える体験型環境プログラムの授業を受けました。

1年生は、「エコソング」を中心に歌やダンスを通して、楽しみながら、ごみやリサイクル・地球温暖化について学習しました。

2年生は、「リサイクルつりゲーム」で釣りゲームを体験し、楽しみながら「ごみ」と「リサイクル」について学習しました。



アルミ缶や紙パック、たまごのパックなどがリサイクルによって何に変わるのか確かめながら、「ごみって思ったけど、ごみじゃないやな。」と気づく子もいました。

授業の最後に出たクイズです。ぜひ、一緒に・・・。

「再生紙トイレtpーパー 1ロールは、牛乳パック(1L)何個分で作られているでしょう。」

- ① 50個分      ② 5個分      ③ 100個分

答えは、②の5個分なのだそうです。